

サステナビリティ・ファイナンスを通じた資金調達の実施

高速道路の建設などの事業に必要な資金は、社債の発行や金融機関からの借入により調達しており、事業を着実に進めるため、安定的な調達に努めています。

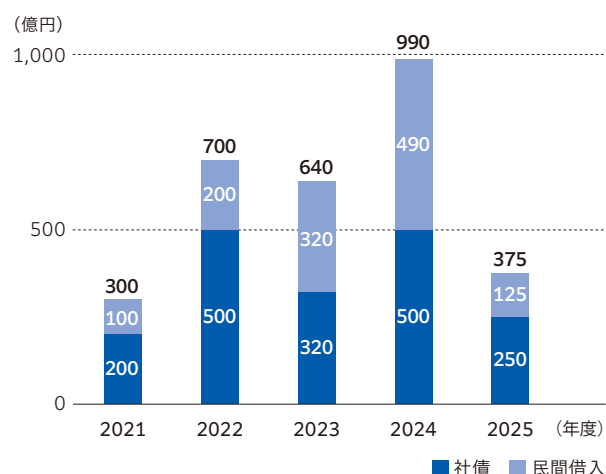
2023年には環境・社会課題の解決に資する事業に充当することを目的として、(株)格付投資情報センター(R&I)からサステナビリティ・ファイナンスに係る第三者評価を高速道路会社で初めて取得しました。サステナビリティ・ファイナンスを通じて阪神高速道路(株)の事業意義や取り組みにご理解をいただいた多くの金融機関や自治体などの投資家の皆さまから、融資・投資をいただいているところです。

2025年度は、375億円を調達し、45件の新規投資・融資表明※をいただきました。調達した資金についてはリニューアルプロジェクトや道路照明のLED化などの事業に充当しております。

引き続き事業活動に必要不可欠な資金をサステナビリティ・ファイナンスによって調達し、環境・社会課題の解決に資する事業を通じて持続可能な社会の実現および持続的な企業価値の向上を目指していきます。

※ 金融機関や投資家がSDGsを推進する取り組みとして、SDGs推進に寄与する融資や債券の購入を行うことで、持続可能な社会の実現に貢献し、社会的使命・役割を果たしていくことを対外的に公表すること。

〈資金調達の推移〉



高い信用格付けの取得

(株)格付投資情報センター(R&I)および(株)日本格付研究所(JCR)から日本国債と同格の高い信用の格付けを取得しています。

〈阪神高速道路(株)の信用格付け〉

(株)格付投資情報センター(R&I)	AA+
(株)日本格付研究所(JCR)	AAA

VOICE

サステナビリティ・ファイナンスによる安定的な資金調達

阪神高速道路(株)では高速道路会社として初めてサステナビリティ・ファイナンスに係る第三者評価を2023年に取得しました。以降、投資家の皆さまへの個別訪問をはじめ、SDGsセミナーや市場関係者向け現場見学会の開催など、通算200件を超えるIR活動を実施しました。IR活動では、高速道路事業のスキームや変動賃借料制度、債券の特性などについてご説明するとともに、環境・社会課題の解決に向けた当社の取り組みをお伝えすることで、投資家の皆さまに当社事業への理解を深めていただけるよう努めています。

結果、サステナビリティ債券およびローンによる累計の調達金額は1,800億円を超え、合計229件の投資・融資表明をいただいております。

今後も投資家の皆さまと丁寧な対話を行い、サステナビリティ・ファイナンスによる安定的な資金調達に取り組んでまいります。



阪神高速道路株式会社
経理部資金課
藤野 達貴